

シート例1 (方略シート①)

目標が
具体的に
段階的に
設定

毎週の
授業で
取組

今できること	いつ・どこで	どのような支援で	記録 (評価)
入室の挨拶を言うことができる(健康観察を持って行くときのみ)			
教室以外の部屋に入っていく時は挨拶を言えるようになる。	11/12 教室で 実際場面で	お手本を示す 写真カード活用 他の部屋は一緒に行く	11/12 意外だったのは、お手本を示す中で本児が「次〇〇ちゃん」と自ら始めたこと。
前回の復習をし、一人でお使いをする。返事を聞いてから入室できるようになる。	11/19 前回の復習 おつかい 職員室・保健室の先生	おつかいの動機付け (みかんと手紙) 返事による判断 「今はダメだから」	11/19 おつかいを付随させたことで興味は持ったが、こちら側が多くのこと(誰から、渡し方、どうぞ)を求めることになってしまい、複雑化
人に物を渡す時に、言葉を添えて渡すことができる。	12/3 教室で練習 保健室の先生	ロールプレイ 「これどうぞ」「お願いします」 きちんと渡す	12/3 あいさつの練習は進んで取組もうとする。
人に物を渡したり頼む時に「どうぞ」「お願いします」等の言葉を添えることができる。	1/14 教室で復習、練習。保健室の先生に	教室で場面設定 お面をつける	1/14 「行ってきます」「ただいま」はお気に入り(遊び感覚)。そこから先が進みにくい。飽きない程度に繰り返し指導が必要。
返事を聞いて入室し、ことづけものをわたすことができる。	この間、本児のコミュニケーションが進み、自分から周りの人に話しかけていくことが増えた。「何してるの?」「休憩、どうぞ」と単調な繰り返しであるが反応を楽しんでいる。場面設定により、これを豊かにしていきたい。		
目標とすること			
備考(指導を通して気付いたこと・申し送りたいことなど) ・分かりやすい行動であれば、ロールプレイをすることに進んで取組むことができる。・場の安心感、人間関係における信頼感を高めていくこと、同時にコミュニケーション力を育てていくことが目標達成につながる。・人との関係を楽しめる言葉によるコミュニケーション力を育てていきたい。			

模倣力と
いう強み
を利用

教師の支
援につい
ても評価。

シート例2(方略シート①)

目標が
評価に応じて、
段階的に設定

PDCA
サイクル

般化の
視点

目 標	どのような支援で	記録 (評価)
音をたてないように置く。	音をたてないように置く練習をする。	10/1 練習をすると上手にできた。
↓		
そっと置くことができる	「そっと」の声かけをする。	10/5 そっとと自分で言いながら、そっと置くことができた。
↓		
優しく人に物を渡す	手に優しく載せられたら、OKの合図で知らせる。	10/14 手に載せる時も最初はそっと声をかけるようにすると、すぐ同じように「そっと」と言いながら、手に載せることができた。そしてOKと確認する。但し、ノート限定である。
↓		
他の物でも、そっと置いたり手渡したりできる。		11/19 担任に物を手渡す場合は気をつけられるようになったが、ノート以外の物を机に置いたり、他の人に手渡したりする時はまだ声かけが必要である。
↓		
そっと置いたことを知らせることができる。	そっと物を置いたら教えてくれることを約束する。	1/14 そっと置いた物を教えることができた。
備考(指導を通して気づいたこと、申し送りたいことなど) 物、人限定ならできるようになるが、違う物、人になるとまた声かけが必要である。一度できるようになったことに関しては定着するため、ひとつひとつ指導を重ねることが大事である。		

日々の
記録
(評価)
ができる
ている

授業実践(学習指導案より)

対象授業 生活単元学習

単元名 「気持ちのよいあいさつをしよう」

単元目標 相手に不愉快な思いをさせずに挨拶をすることができる

単元設定について

軽度知的障害を伴う広汎性発達障害の児童が、相手の感情を理解できない、場の雰囲気を読めない、協調して遊べない、社会的ルールが分からない、羞恥心の欠如、多動・不注意・衝動性、特有の言葉遣いなどの障害特性により、学校生活を送る中でトラブルが大変多い。

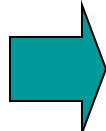
改善したい問題行動として、適切な挨拶の仕方、異性への身体に対する興味、勝負の勝ち負けへのこだわり、があげられる。いずれの問題行動も、今後生活年齢と共に周囲の受け入れが難しくなってくると考えられる。良好な人間関係を築き、円滑な集団生活を送るためにも改善していきたい行動である。

指導目標 「〇〇先生、おはようございます。」とすることができる。

「個別の指導計画」との関連性(ワークシートより抜粋)

【長期目標】 人との正しい関わり方を身につける。
楽しみながら学習に取り組む。

【短期目標】 〇〇先生、〇〇さんと呼びかけることができる。

 シート例3

シート例3(方略シート①)

今できること

**指導場面(授業)
が明確になった**

	いつ・どこで	どのような支援で	記録(評価)
1 促されると、見立てた相手には「〇〇先生、おはようございます」と言うことができる。	授業で (SST)	写真カードを相手に見立てて挨拶する。	11/11(水) 「〇〇先生、おはようございます。」と、促されて言えた。その後は、相手との会話を楽しんだ。
2 1と同様	授業で (SST)	〇〇先生、〇〇先生のお面をつけた担任に挨拶する	11/20(金) 名前もつけるように指示すると「〇〇先生、おはようございます」と言えた。
3 1と同様	授業で (SST)	他の先生のお面を担任がつけて挨拶する。	11/24(火) 「〇〇先生、おはようございます。」と言えたが会話することに気をとられた。
2 1と同様	校内で	ワークシートの吹き出しに挨拶と会話を書く	11/24(火) 挨拶文は書くことができたが、会話文を書くことが活動の中心になってしまった。
5 「〇〇先生」「〇〇さん」と呼びかける。 目標とすること	校内で	そばにいるだけ。指示なし。	

指導の手だてが**具体的に**

授業後に評価(記録)ができて
いる